



# KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

# Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度  
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン  
 R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎  
 熊本グリーンR.C. 会長 大友 利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2015年10月26日】

第1193回  
 2015-2016年度 第13回  
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

・卓話者:地区米山奨学委員会  
 副委員長 坂口 滋一 氏  
 (熊本中央RC)

・米山学友生  
 趙睿(ちようえい)さん



友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

今日は米山の卓話ということで、少し中国の事をお話します。日本は古く遣隋使、遣唐使を中国に送って、中国の随、唐の制度や組織を学び、冠位十二階の制定や「文化の改新」などに実現させました。全部で20回程に及んだとの事ですが、500人規模の人数を送り、持ち帰った先進文物は政府が独占的に管理し、やがて、それらによって古代文化が開花しました。唐で研鑽を積んだ最澄、空海、円仁らも中にいました。情勢の変化や唐の衰退でその事業の意味も薄れ、菅原道真の停止の建議(894年)で終わりました。

その後中国は、960年「宋」という王朝が生まれ、中国社会のしくみは大転換をとげ、戦前の東洋史家の内藤湖南をして「中国史を一カ所で区切るなら唐と宋との間で切れる」という見方を提唱しました。これは今日の定説で「科挙」という儒教にもとづく官僚採用試験を全面的に採用して身分や地方を問わず実力を重視、唐代に残っていた貴族の世襲政治を完全に廃止しました。啓蒙君主制度の下での発言の自由も、君主批判もご法度で、今日の中国の共産体制にも採用されています。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「熊本第3グループIM(インターシティーミーティング)」のご案内

(倉田ガバナー補佐より)

日時：平成27年12月12日(土) 10:00~16:00

受付 9:30~10:00

午前の部 10:00~12:00

永田壮一ガバナーノミニの講演や各クラブ代表発表等

昼食・休憩 12:00~13:00

午後の部 13:00~16:00

徳野貞雄 熊大名誉教授の講演や座談会等

場所：菊南温泉ユウベルホテル

会費：5,000円

★各クラブ10名以上の参加をお願い致します。

卓話  
予定

11/2 米山奨学生卓話 張瀚丞(チウカンジョウ)さん(国籍：中国) 熊本学園大学・商学部4年

11/9 ★熊本北RCとの合同例会  
「松井家の歴史と文化財」八代神宮 宮司 松井葵之 氏

11/16 熊本第3グループガバナー補佐 倉田榮喜 氏

11/23 祝日休会(勤労感謝の日)

11/30 「2010年大学入試は何が変わる」(株)なるほどゼミナール 社長 山中孝光 氏

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本水前寺公園RC】

11月11日(水)の例会は、水前寺江津湖公園清掃のため、11月15日(月)09:00より、水前寺江津湖公園にて行います。

【熊本西RC】

11月17日(火)の例会は、熊本第4グループIMのため、11月14日(土)18:00より、パレアにて行います。

【熊本菊南RC】

11月18日(水)の例会は、天使園の子供達とヴォルターズ観戦のため、11月28日(土)17:00より、益城町総合体育館にて行います。

【熊本'05福祉RC】

11月10日(火・祝日)の例会は、もみじ狩り親睦例会のため、11月3日(火・祝日)16:00より、寺田邸にて行います。

<取止め>

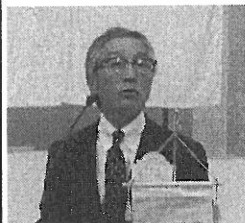
下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、取止めます。

[熊本南RC] 11月2日

出席報告 (上田 観一会員)

	会員総数	22名	出席率
10月26日	出席免除会員数	1名	66.67%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	14名	
10月12日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			

3. 例会プログラム



地区米山奨学委員会  
副委員長 坂口 滋一 氏

「米山奨学会について」

委員会報告

①熊本中央RC第7回チャリティゴルフ会の報告  
報告者：山下 佳介 会員

②第4回親睦ゴルフ会及び忘年会のご案内  
報告者：河島 一夫 ゴルフ部キャプテン

★ゴルフ「第4回 親睦ゴルフ会」

日時：平成27年11月17日(火)

集合7:40/スタート8:07

場所：「チサンカントリー御船」

プレー費：6,500円位

(キャディは無しでセルフです)

★忘年会「ゴルフ会忘年会」

日時：平成27年11月17日(火) 18:30～

場所：「もっとも」

参加費：5,000円

※ゴルフ表彰式は「忘年会」会場にて行います。  
※ゴルフ会々員で今年度(7月～)1度もゴルフをされて無い方は無料ですので「忘年会」だけでも御参加をお待ちしております。

スマイル (石浦 順一会員)

●坂口 滋一 君(熊本中央RC)  
「本日は地区の米山の担当としてお話をさせて頂きます。いつもグリーンクラブ様にはご支援を頂き深く感謝します。」  
●大友 利行 君、荒木 一之 君  
「本日は米山奨学生OBの趙さんご来訪ありがとうございます。また、米山奨学委員会副委員長坂口様の卓話楽しみにしています。」  
●河島 一夫 君、十時義七郎 君  
栗山 義則 君  
「米山奨学副委員長の坂口様と奨学生の趙睿(チョウエイ)様ようこそ私共のクラブへ。イブニングクラブもいいものですよ。」



左から坂口滋一地区米山副委員長  
趙睿(チョウエイ)米山学友生、大友利行会長



## 地域リーダー:地区を支援するエキスパート

### ゾーンの枠を超えて地区を支援する地域リーダー

地区のリーダーが、ロータリーのストーリーを効果的に伝え、新会員を増やし、財団寄付を推進する上で支援してくれるのが、地域リーダーです。

ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) から成る地域コーディネーターは、豊富な経験と知識で地域リーダーを援助します。

米国西海岸では、地域リーダーがゾーンの枠を超えて、ブランドとボイスの推進で効果を上げています。

RPICのティム・ビューリーさんは、自分が属する第25、26ゾーンの地域コーディネーター6人を、「Team of Six」(6人のチーム)と呼んでいます。「会員増強、公共イメージの向上、ロータリー財団の支援はすべて関連しています。ですから、会員を増やすには、ほかの点にも同時に取り組まなければなりません」とビューリーさんは語ります。

「6人のチーム」の地域リーダーの2人は、入会希望者が経験するさまざまな場面をドラマ形式で再現するというユニークな研修を行っています。入会に関心を持つあるキャリアウーマンを想定し、ロータリーについての説明、クラブのウェブサイトの紹介、例会への招待、最後に入会式、という流れでドラマを演じます。研修参加者はこれを見ながら、各段階でクラブがどう対応すべきかを考え、それを基に90日以内に自分が実践するための実行計画を立てます。

「6人のチーム」のもう一人であるスティーブ・レモンさんは、この経験から2つ、大切なことを学んだと言います。

「『ロータリーとは何か』という問いに対して、新しい答えが必要だということ。また、新会員の経歴や、趣味、関心事などに注目し、その人をよく知ることができるような入会式を増やす必要があるということです」

ドラマの後に、以下のような実行項目を説明します。

- クラブのウェブサイトを更新する
- 各自の職業について会員がスピーチする
- 会員同士が名前と職業を覚えあう
- 例会での挨拶と歓迎の手順を決める
- 全会員がクラブの役割を分担する

「ロータリーとは何ですか」と尋ねられたすぐに答えられるよう会員を研修するこの研修をほかでも行うよう、「6人チーム」にはリクエストが殺到しているそうです。参考資料はzone25/26 websiteからダウンロードできます

# 未永い影響をもたらすために

## メキシコでの教育・識字支援プログラムで2つのクラテが協力



バークレー・ロータリークラブ (米  
国カリフォルニア州)、バヒアテハル  
テムバ・ラベニタ・ロータリークラブ  
(メキシコ)、そのほかの北米のクラテ  
は、2003年以来、メキシコで秘教の  
教育・識字プロジェクトに取り組ん  
できました。

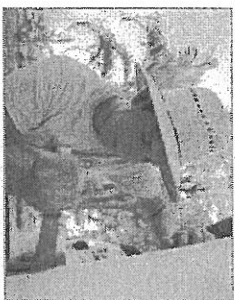
これまでで最大のプロジェクトは、ク

ローバル補助金のほかに、6地区の25  
のロータリークラブが資金を寄せ合い、  
ラスベラスの村で実施された学校改  
修プロジェクトでした。1カ月の間に、  
学校の教員、生徒、保護者を含めた  
90人のボランティアが、コンピュータ  
一室、実習用キッチン、化学実験室を  
改修したほか、電子機器や機材を寄  
贈しました。これらの設備は地元の人  
びども利用できるようになっています。

### 地元の人々とともに楽しい 未永い影響

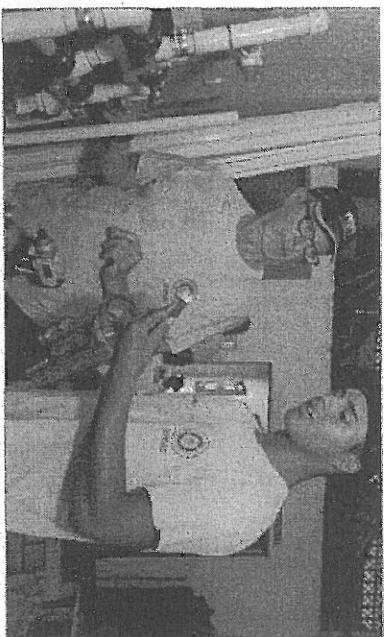
このプロジェクトは1998年、バークレ  
ー・ロータリークラブの会員、ピート・  
ソブソンさんがチヤカラ村を訪問した  
のがきっかけでした。地元の生徒た  
ちは家庭が貧しいため、8年生(日本  
の教育制度の中学2年生)を終えると  
ほとんどが進学をあきらめて、就職  
せざるをえないことをこの時に知りま  
した。これを受けて、村で教育支援セ  
ンターをつくり、地元の奨学金制度を  
支援することにしました。

ソブソンさんは、この地域で長期  
間活動を続けることで、地元住民と



の信頼関係ができたと言います。「ま  
ず、地域で何か一番必要とされている  
かを人びとから聞くことから始めまし  
た。そうすることで知り合いや友人が  
でき、必要な機材や人力を確保しやす  
くなりました」

バヒアテハルテムバ・ラベニタ・ロータ  
リークラブのソリアナ・デイさんは、地  
元住民との協力と信頼関係によって、  
プロジェクトを成功に導くことができ  
ただけでなく、人びとが以前より教育  
を重視するようになったと述べてます。  
「この地域の村には資金がなかったの



で、ロータリーが援助しなければ、こ  
のようなプロジェクトは不可能でした。  
ロータリーのおかげで、村の生活は以  
前よりずっと良くなりました」

カロリナ・ゴンザレス・リバスさんは、  
このプロジェクトで長期的な恩恵を受  
けた一人です。デイさんが入会前に設  
立した奨学金のおかげで高校に通え  
るようになり、現在、金融修士号の取  
得を目指しています。リバスさんはま  
た、バヒアテハルテムバ・ラベニタ・ロ  
ータリークラブに贈って入会しました。  
「ロータリーがこのように地域で教育



校舎にベンキを塗るロータリー会員、ジ  
ョン・ラングさん(写真左)。バークレ  
ー・ロータリークラブ(米国カリフォルニ  
ア州)は、教員、生徒、保護者と協力し  
てこの学校を改修し、コンピュータ  
ホ、実習用キッチン、化学実験室をつ  
りました。その間、ロータリー会員、アメ  
リア・ウオードさん(写真右)は、英語の  
授業を行いました。

を支援し、生徒たちが人生に希望を  
持てるようにしていくことで、世界を  
変えられると思います」

### ➔ 補助金の申請

